

みんなの 町議会

第 22 号

平成22年4月15日



神石高原町



新しい机・イスで勉強！（三和小学校）

■最大の積極型予算成立（105億1,000万円）	2
■「今後検討する」では遅い（平成22年度予算審議）	4
■思い切った定住・子育て支援（条例改正など）	6
■ありゃあどうなった？（統合三和小学校）	9
■売れるのか「星の里いせき」（総括質問）	10
■朗読ボランティア「こだまの会」（元気なグループ紹介）	18

3大プロジェクト発進

定住対策 6,076万円

ケーブルテレビ 20億7,236万円 (平成21年度の繰越事業)

三和統合小学校建設 9億9,000万円

3月定例会は、3日から19日まで開かれ、平成22年度当初予算、21年度各会計補正予算、神石高原町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定など96議案と議員提出の発議3件等99案件を審議しました。それぞれ原案のとおり可決しました。

一般質問では、13名の議員が当面する行政課題をいただきました。

高原の特徴を生かした魅力ある生活拠点づくり

15億4,800万円

- 「源流の里」維持再生 1,960万円
- 雇用対策 5,000万円
- 給水・汚水処理 13億3,170万円
- 清掃衛生 1億9,900万円
- 消防防災 4億3,000万円
- 地域コミュニティ 4,630万円

保健医療福祉が充実した安心して暮らせるまち

44億6,650万円

- 健康推進 5,200万円
- 医療充実 18億6,140万円
- 高齢者障害福祉 20億8,300万円
- 子育て若者定住 3億3,900万円
- ふれ合い支え合い 1億3,000万円

投資的経費

前年度45・8%増の積極型予算

本年度は、一般会計・各特別会計・病院事業会計に平成21年度繰越事業を加えると176億1,635万円となり合併以来最大の積極型予算となりました。井関総合開発を含めた新たな「定住対策」、平成23年度から供用開始を目指した「ケーブルテレビ」の推進、三和地区の「統合小学校建

設事業」を3大プロジェクトと位置づけ、重点配分された結果、投資的経費が18億5,000万円(前年度対比45・8%増)となっています。

新規事業としての、少子化対策や経済活性化対策としての「定住対策」各種事業、単独で取り組む「源流の里」維持再生事業などにも重点配分されました。

自然と歴史を生かした教育文化のまち

13億600万円

- 三和統合小学校 9億9,440万円
- 社会教育社会体育 2,620万円
- 図書館運営 1,110万円

活力ある産業と交流のまち

6億5,700万円

- 農林業の振興 5億8,170万円
- 商工業の振興 3,900万円
- 観光・交流 3,660万円

交通情報通信基盤の整った一体感あるまち

6億4,900万円

- 町道など道路整備 4億1,200万円
- 生活交通 1億9,950万円
- 情報通信 3,770万円



雪どけマラソン



「星の里いせき」完成イメージ

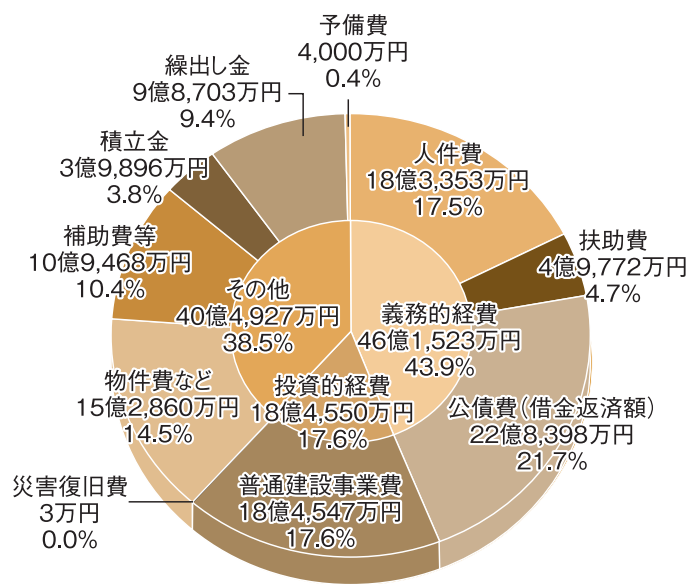
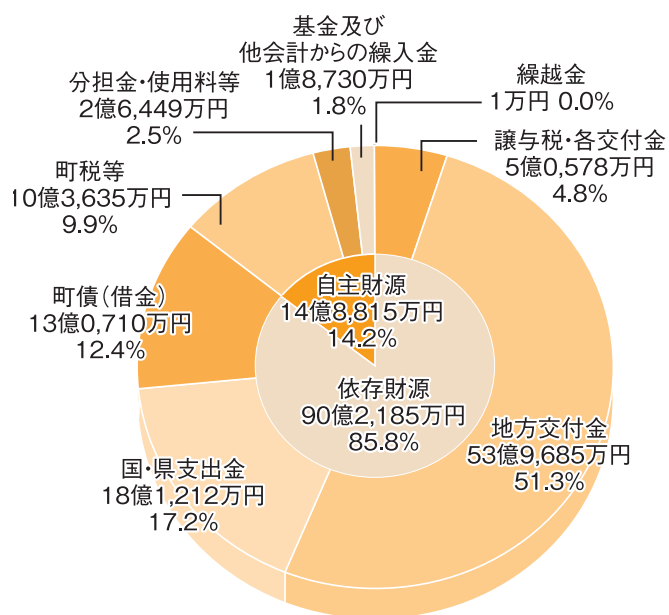
全会一致可決

平成22年度一般会計予算
(前年対比6.2%増)

105億1,000万円

平成22年度 一般会計 予算比較表

総額105億1,000万円



歳入 合計：105億1,000万円

歳出 合計：105億1,000万円

平成22年度一般会計予算の執行に当たっては、特に以下のことについて、十分対応されるよう強く要望するものである。

はじめに、本予算審議を通じて、質問に対する詳細説明等において、『今後検討する』などの答弁が多くあり、上程された予算が十分に検討されていないのではないかと感じた。

今後においては、事業内容を確実に精査され、万全な対応をしていただく事を先ず望みます。

①新規事業の実施計画を充実させ、事業効果を早期に上げること。

②「創造」を盛り込んだ予算は、一般会計の総額は105億1,000万円、率にして6.2%増の予算案は高く評価する。

③各事業において費用対効果の成果が出るよう十分な検証を行い、より確実な執行を行うこと。

④「源流の里」等維持再生支援事業では、個性ある豊かな地域づくりと、リーダー探しに努めること。

⑤一般廃棄物処理業務など、行政からの委託事業は委託料の適正化を図ること。

⑥予算審議に於いて、課題として取り上げた事項について、議員の意見・指摘を十分に参酌のうえ、解決に向け、具体的に積極的な対応を行うこと。

以上、予算に対する意見・要望を申し上げ、議案第81号平成22年度予算認定における賛成討論とする。

平成22年度当初予算「賛成討論」

総務文教常任委員会 委員長 村上 克朗

平成22年度 特別会計・ 病院事業会計当初予算

単位：万円

会計名	予算額
国民健康保険	11億6,400万円
後期高齢者医療	4億2,400万円
老人保健	700万円
介護保険	18億2,760万円
簡易水道事業	3億6,290万円
飲料水供給施設事業	3,130万円
農業集落排水事業	2億4,940万円
分収育林事業	10万円
総合開発事業	2,340万円
特別会計計	40億8,970万円
病院事業会計	1億7,610万円
合計	42億6,580万円

平成22年度予算に対する 少し細かな質問

総務課

小川議員 井関定住

団地の消火栓・防火水槽
など防火対策は。

総務課長 消火栓3基、
防火水槽1基を計画。

佐伯議員 防火水利

指定池の管理に支援を。

総務課長 補助制度はな
いが、水利確保のため検
討したい。

松本議員 地域経済

の活性化に向け、入札制
度はどう改善するのか。

総務課長 最低制限価格
の見直しを行った。また、
前払金を1,000万円
から300万円に引き下
げ、5,000万円以下の
建設工事については、町
内に本店を有する業者を
選定するようにする。

松本議員 本町は障

害者の雇用が基準を満た
していないが、障害者の
雇用はどう取り組む。
副町長 国から指導を受
け、新年度から臨時職員
の採用を検討する。

企画財政課

寄定議員 「源流の

里」維持・再生支援事業
で「ふるさと応援団」の
組織づくりは、町が窓口
となって取り組むべきで
は。

企画財政課長 集落の意
欲ある取り組みに期待し
たい。取り組みが困難な
集落については町が積極
的に支援する。

木野山議員 自治振興

会経費500万円減額の
理由と今後の方向は。

企画財政課長 人と自然

が輝く事業基金から「源
流の里事業」に切替えた。
運営補助金は従来通り継
続する。ファンド事業な
どの活用でフォローした
い。

木野山議員 協働のま

ちづくりの観点から事業
を見直せ。自治振興会も
31から10に再編せよ。ふ
れあい事業予算の繰り越
し部分の活用は。

企画財政課長 平成25年
までに有効活用をしてい
ただく。

橋本議員 ブライダ

ル対策事業の具体策は。
農業委員会や自治振興会
が取り組み支援するの
か。

企画財政課長 具体策は
これからだ。

青年会を含め協力をお願
いし活動に支援したい。

小林議員 過疎法延

長に伴う新計画は、前過
疎計画の検証結果を基本
に据えるべきでは。

企画財政課長 基本的
に長期総合計画をベース
に地域・年度バランスも
勘案しながら、町内全域
的な計画実施を検討する。

小川議員 子育て支

援の祝い金には滞納者へ
の制限はないのか。

企画財政課長 祝い金に
は滞納者への制限を加え
ない。個人の良識を望む。

松本議員 観光振興

を、どう位置づけ、どの
ような観光を目指すのか。
企画財政課長 観光は情
報発信のためにも重要で
ある。役場と観光協会、
観光施設が連携を強め取
り組む。滞在型で、ふれ
あい・交流を深めて定住
につながるばよいと思っ
ている。

藤田議員 住宅新築

促進事業で固定資産税額
の2分の1相当額を現金
で交付とあるが、町内通
用の商品券を考えては。

企画財政課長 今は考え
ていない。

佐伯議員 ふれあい
ファンド事業の審査と助
成を見直すべきでは。
企画財政課長 検討はす
るが、今年はこのまま実
施したい。

村上議員 緊急雇用
対策基金と雇用創出基金
補助金5,000万円は
町内失業者の救済になる
のか。
企画財政課長 緊急雇用
対策に14事業、雇用創出
に2事業を計画。



卒園式（どんぐり幼稚園）

産業課

橋本議員 都市との

交流事業の具体策は。

産業課長 都市との交流

目的で、森林セラピー事

業をスコラ高原で実施す

る。

丸山議員 ひろしま

の森づくり事業の減額は。

産業課長 県内で多くの

要望があり、2割減とし

ている。環境貢献林整備

事業は、森林組合に補助

する。

丸山議員 林業再構

築プロジェクトの増額は。

産業課長 県の事業が町

直轄となる事による。

間伐、作業道などの事業

を森林組合で行う。

片山議員 三和地区

の松枯れ被害は、山林面

積の70%。広葉樹・スー

パー松植林などの対策を。

産業課長 県の10割補助

制度枠の拡大など、多角

的に取り組むたい。

村上議員 新規就農

支援事業の条件である就

農5年次に農産所得350

万円以上確保は困難では。

産業課長 この新規就農

者支援事業で地元住民の

協力・助言などにより定

住につなげて欲しい。

横尾議員 新規就農

者支援事業で土地の購入・

賃借に助成。農地確保の

予定と確保可能な面積は。

産業課長 平成21年3月

末現在、町内の耕作農地

は1,750haである。

保健課

小川議員 総合健診

の三和地区会場が3か所

から1か所となったが、

受診者が減少しないか。

保健課長 三和地区以外

は以前から1か所である。

ふれあい号などを利用し、

受診していただきたい。

寄定議員 介護施設

待機者の掌握は。在宅介

護家族への支援を充実・

強化すべきでは。

保健課長 介護施設の待

機者は約200人である。

在宅介護家族への激励手

当と介護者への休息・リ

フレッシュケアなどによ

り支援。

橋本議員 町内で自

殺者が増加傾向だ。「心

と健康」について健康教

室などの取り組みは。

保健課長 今年度も研修

会を開催した。引き続き、

実施する。保健委員の出

席率を高めていきたい。

佐伯議員 メタボリ

ック検診の減額の理由は。

保健課長 受診者の減に

よるもので今後増に努め

る。

住民課

横尾議員 税等の徴

収業務に嘱託職員雇用の

効果とその予測は。

住民課長 業務内容がわ

環境衛生課

かっている人がよいが、

まだ人選はできていない。

再生のため、明渠排水の

補助制度は復活を含め条

件整備が必要では。

建設課長 調整水田や管

理転作田の復旧は必要な

ので明渠排水事業補助を

復活したい。

丸山議員 小畠上水

道の水不足の解消は。

環境衛生課長 第一段階

として老朽管の改修を行

う。

村上議員 エコタウ

ンなどの事業は農業関係

への適用はないのか。

環境衛生課長 一般家庭

への助成金。農業関係は

別の事業で取り組む。

藤田議員 太陽光発

電補助金の本設備以外の

省エネ負荷対策とは。

環境衛生課長 ペアガラ

スの二重窓、LED照明

などの設備のことである。

建設課

再生的ため、明渠排水の

補助制度は復活を含め条

件整備が必要では。

建設課長 調整水田や管

理転作田の復旧は必要な

ので明渠排水事業補助を

復活したい。

木野山議員 保育所は

3子目から保育料が半額

免除となるが、どんぐり

幼稚園はどうするのか。

教育課長 保育所とは保

育料算定などの条件が違

い、今年度はむずかしい。

今後調整したい。

寄定議員 成人式の

新成人に対する記念品は、

図書カードではなく本を

贈呈すべきだ。

教育課長 二十歳の20

冊として、著名人が推

薦する20冊及び町長が選

定した本の中から、好き

な本を1冊選んでもらい、

贈呈する。

瀬尾議員 荒廃地の



元気に歌う子どもたち（油木保育所）

こんなことが決まりました

人権擁護委員の推薦

全会一致

中西朝江さん 任期 法務大臣が委嘱した日から3年間 再任
中間智美さん 任期 法務大臣が委嘱した日から3年間 再任
東 幸子さん 任期 法務大臣が委嘱した日から3年間 新任

条例制定

定住促進条例を制定

反対1

①住宅に関する支援 ②結婚、出産及び子育てに関する支援 ③農林・商工業に対する支援 ④教育環境の充実 ⑤神石高原町の広報活動 町長が特に認め推進する施策
●住宅建築に使用する木材に限り、町有林の樹木を無償譲渡できるものとする。

定住促進住宅用地の分譲条例

反対1

「星の里いせき」定住促進住宅用地の分譲に関する必要事項を定める。
①所有権移転登記完了後3年以内に住宅建設を完了 ②建設後は町内に生活拠点を置き、定住できるもの ③満15歳未満、妊娠中の方がいる者には分譲価格から10%を減額する。

条例廃止

神石中学校寄宿舎を廃止する

全会一致

条例一部改正

町職員の給与など減額

全会一致

●職員→ 給与が平均で0.2%, 期末手当が0.25月、勤勉手当が0.1月分減となる。(人事院勧告による)
●町長、副町長と教育長→期末手当0.25月分減。さらに10%減。

選挙管理委員会報酬

反対1

委員長10万円 委員9万円にアップ

町税の前納報奨金を減額

反対4

個人の町民税と固定資産税の納期前納付報奨金の交付率を1%から0.5%に半減。

新生「三和小学校」誕生

全会一致

二幸小学校、三和小学校、高蓋小学校が統合し、三和小学校(小島1370番地)となる。

森林公園施設利用料などを改定

全会一致

★森林公園宿泊施設の寝具使用料は実費を徴収。
★仙養ヶ原グラウンド、半日6,000円・1日10,000円。休憩施設1時間2,000円。

町立病院の診療科目が増加

全会一致

脳神経外科と呼吸器内科を加え、7診療科となる。

「まちづくり推進課」を設置

全会一致

企画財政課を廃止。
定住対策などのまちづくりをより積極的に行うため、「まちづくり推進課」を設置。(財政課は独立)

企業誘致対策審議会設置条例の改正

全会一致

「まちづくり推進課」を窓口に移す。

工事請負契約の締結

ケーブルテレビ(CATV)の光ケーブル設置工事

全会一致

工事場所 神石高原町全域
請負金額 18億4,225万5千円
請負者 (株)NTT西日本-中国
工期 平成22年3月20日～平成22年3月31日

「星の里いせき」の上・下水道工事

反対1

工事場所 神石高原町井関 地内
請負金額 5,646万9千円
請負者 (有)フジタ住設
工期 平成22年3月20日～平成22年3月31日



すいせん公園(豊松)

「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」により増額

○一般会計

歳入歳出補正予算額 2億7,597万円

補正後予算額 138億3,946万円

(万円以下四捨五入)

費目	補正額	補正後予算額	主な内容
総務費	3億267万円	40億7,748万円	きめ細かな臨時交付金 (3億6,800万円)
民生費	△2,609万円	17億4,934万円	子ども手当システム改修 (384万円), 保育所運営(△766万円)
衛生費	△2,040万円	12億8,133万円	し尿処理場(420万円) 簡水・飲料水供給繰出 (△2,189万円)
農林水産費	△3,389万円	12億3,841万円	実績見込みにて減
商工費	△129万円	1億2,409万円	商工・観光団体補助金精算 (△170万円)
土木費	△1,308万円	7億5,692万円	県道整備の減 (△1,100万円)
消防費	△999万円	4億1,977万円	消防団退団報償費など減 (△598万円)
教育費	△1,765万円	8億3,127万円	地上デジタル化 (△453万円)
公債費	△3,660万円	27億3,790万円	前年度繰上げ償還により 返済計画を変更した
諸支出金	1億3,227万円	4億8,198万円	減債基金(1億2,203万円), 人と自然が輝く基金 (1,005万円)積立

3月補正予算

3月補正予算では、国からの「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」や「地域活性化・公共投資臨時交付金」によって、ケーブルテレビ事業、町道・農林道の維持

補修をはじめ、集会施設の整備など住民生活に密着した事業と、将来に備えた基金(貯金)の積み立て、また一方で公債費(借金)の繰上げ返済をすることになりました。

「公共投資臨時交付金」を充当、

町債の発行を抑制

○特別会計・病院事業会計補正予算

会計名	22/3月補正額	補正後予算額
国民健康保険特別会計	8,013万円	12億4,916万円
後期高齢者医療特別会計	31万円	3億6,307万円
老人保健特別会計		5,478万円
介護保険特別会計	△8,173万円	17億4,316万円
簡易水道事業特別会計	△2,917万円	6億4,662万円
飲料水供給施設事業特別会計	△380万円	3,207万円
農業集落排水事業特別会計	3万円	2億3,530万円
分収育林事業特別会計		20万円
総合開発事業特別会計	414万円	2億1,769万円
特別会計計	△3,009万円	45億4,205万円
病院事業会計	1,317万円	2億8,007万円

平成22年度に行う事業(繰越明許費)

ケーブルテレビ 光ファイバー設置事業など	20億7,236万円
井関定住団地上下水道整備など	1億1,870万円
地域活性化・きめ細かな交付金 (集会施設の改修など11事業)	3億6,800万円
国民保護対策経費	305万円
林道馬ノ瀬線・竜王線整備	2,584万円
町道維持補修経費	1,139万円
町道時安・仁後線他2路線改良	5,600万円
学校ソーラパネル事業など	6,000万円



繰越明許費とは

町の予算は年度ごとに独立し、その年度内に支出しなければならないが、例外と

して、当該年度の歳出予算の一部を翌年度において支出することが出来る予算。

議 員 発 議



3月定例会では、3件を全会一致で可決しました。

神石高原町議会議員の報酬及び 費用弁償等に関する条例の一部改正

提案者：村上 克朗議員
賛成者：木野山孝志議員

- 神石高原町議会議員として、今日的な厳しい行財政運営を執行しておられる町理事者を始め、職員各位のご努力に協力しつつ、議員としての責務を果たすため22年度に支払われる期末手当について、減額改定する。
- 議員に支給される期末手当
0.35月分
率にして2.539%減額するもので、合計約131万4千円減額。

議員の期末手当を
減額しました

神石高原町議会議員記章規程の制定

提案者：横尾正文議員
賛成者：橋本輝久議員

- 神石高原町議会議員としての地位と身分を明らかにし、神石高原町民全体の代表者であり、奉仕者であるという議員の本分を
自覚するために、〔神石高原町議会議員記章規程〕を制定しました。

議員記章規程を
定めました

保育所等の環境を改善せよ

提案者：松本彰夫議員
賛成者：小林 貢議員

- 保育所・児童入所施設の設置及び運営に対して、必要な財源を確保すること。
- 保育所・児童入所施設の最低基準の改善に向け、必要な措置をすること。

国や県に
意見書を
提出しました



笑顔がかわいい子どもたち（小畠保育所）

追跡

ありやあどうなった？

三和地区統合小学校

今はどうなっているか？追跡しました

三和地区統合小学校

建設事業本格着手！

児童数の減少に伴い、より良い教育環境整備のため、三和小・高蓋小・二幸小学校の3校が、平成23年4月に新生「三和小学校」として統合されます。

現在、保護者や地域住民の代表及び教職員で構成される各種委員会で開催に向けた準備が進められ、自治振興会やPTAを対象とした説明会が開催されています。この説明会では、新たに三和中学校敷地内に建築される校舎や教育内容について詳細な説明が行われています。

これまでの経過

平成18年7月10日

神石高原町学校再配置等検討委員会設置

委員会6回開催

5月17日

「神石高原町立小・中学校の教育環境整備のあり方」について答申

8月4日

「神石高原町立小・中学校適正配置方針」の策定

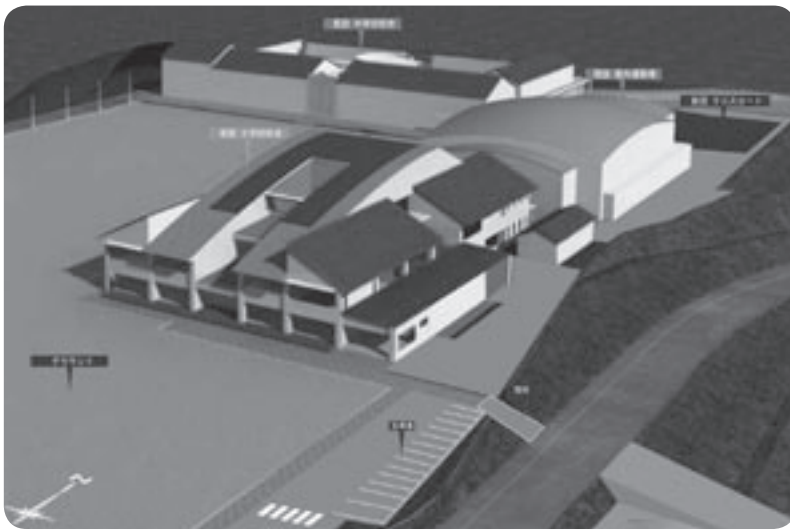
平成19年11月14日

通学区単位での保護者及び地域住民説明会開始

来見小学校区 13回

平成21年7月17日

三和地区統合小学校開校検討協議会設置
委員会開催5回



新設「三和小学校」の完成イメージ図

三和小学校区 7回
高蓋小学校区 13回
二幸小学校区 14回
※来見小は、井関団地開発との関連から当面統合はしないとされた。

（保護者・住民・学校代表で構成、次の事項を関係機関へ意見具申）

①「校名について」

②「校歌、校章、校旗について」

③「制服、体操服について」

④「その他開校に向けた意見具申について」

三和地区統合小学校建設委員会
委員会開催3回

（保護者・住民・学校・議会代表及び町関係課長で構成、関係機関へ諮問）

①校舎提案型設計業者の審査

②開校検討協議会からの意見具申を受け
て関係機関へ答申する。

三和地区統合小学校開校企画委員会

部会・小委員会開催 7回

（学校教職員で構成、各部会、小委員会に別
れ学校現場間の調整をする。）

これからの予定

学校のシンボルとなる「校章デザイン」が広く公募されます。また、スクールパスの配置や通学路の整備計画も今後進められる予定です。



表紙写真の神石高原町産（ヒノキ）机・イスについては、平成21年度事業にて国の経済危機対策臨時交付金を活用し、町有林（悠久の森）のヒノキを材料に小・中学校の机・イスを600セット整備したものです。

総括質問

あなたの声を町政に

総括質問は、一人35分
一問一答方式で行いました

問 井関定住団地販売対策はこれで十分か

木野山孝志議員



答 3年間はこの条件で販売促進

Q 井関定住団地販売の推進事業をもっと増やすべきでは。子育て世帯の受入推進事業だけでは寂しい。

A 町長

3年間はこの条件で販売促進する。

Q せめて購入資金の利子補給と、CATV加入金助成を加えたらどうか。

Q 大きなブランドデザインを持った販売・取り組みがほしい。

A 副町長

エコ村だけでなく付加価値として農園、菜園、地域の応援、自治振興会のあり方など含め検討し

A 町長
長期作戦で販売するのでいろいろな方策を採って行きたい。

Q 福祉タクシーの利用条件が厳しい。修正を。

A 町長

福祉タクシーは障害者の方が対象である。自費での利用部分については改善したい。

Q 町立病院の次年度計画は、赤字解消計画がなされているのか。

A 町長
現在より収益増を計画し、さらなる赤字解消を図って頂く。

Q 町立病院の次年度赤字補填と運営資金の貸付けは。

A 町長

赤字補填は交付税の範囲ならいくらでも良いと言うのではなく、赤字解消の努力をしたうえで

の結果が赤字補填という形をとりたい。貸付金は歯止めとして年度末に一旦返却して頂く。
陽正会から要請があれば再度貸付ける。運転資金の貸付けは経常的に必要と思われる。

問 新生「三和小学校」の環境整備は

村上克朗議員



答 「自然の恵みの物語」をテーマに整備

Q 開校に向け、3地区の児童が仲良く共同学習ができ、強い理念をもって学校を築く気持と、そのシンボルが必要では。

A 教育長

太陽光発電・地熱式暖房・雨水利用を考えている。

「自然の恵みの物語」をテーマに、太陽と地球の恵みに感謝して環境や風

Q 桜並木などの植栽が必要では。

A 教育長

植樹し環境を整える。「源流の里」維持・再生支援事業の取り組みは地域によってばらつきがあるのでは。

Q 「源流の里」維持・再生支援事業の取り組みは地域によってばらつきがあるのでは。

土を大切に思う児童の育成を目指し、児童・保護者が誇れる学校づくりを進める。

A 町長
集落支援員は、地域にとけ込んで精一杯支援している。



満開の桜並木

また、「中国地域づくり協会」の助言をもらっているが、2年間で実績を出すのは難しい。

Q 意欲ある担い手に対する新年度の支援は。

A 町長

プロジェクト事業で、ブドウ栽培50ha、和牛の里で350頭飼育を目標。

新たに、トマト・ブドウ団地開発を進める。JA・東部技術指導所と連携し、担い手や後継者育成に取り組む。

問 職員のモラルの徹底を

瀬尾征爾議員



答 鋭意努力する

Q 住民の方から二点の疑問が寄せられた。一点目は職員のモラルについてであるが、勤務時間のルーズさ、パソコンの私的とも思える使用などである。
A 町長 どのように把握されどのように指導するのか。

Q 指摘の点は私も聞いている。幹部会議で言っているが、幹部から職員にやや伝わっていない感がある。
監督・指導面が欠如し

Q 住民の方から二点の疑問が寄せられた。一点目は職員のモラルについてであるが、勤務時間のルーズさ、パソコンの私的とも思える使用などである。
A 町長 どのように把握されどのように指導するのか。

Q もう一点は臨時職の採用で、公募なし・固定化・縁故採用などへの疑問だ。対応をどうするのか。
A 町長 登録制にしているがマンネリ化している。年度始めに登録を新たにし、新陳代謝が図れるような体制づくりをした。

Q 賃金総額が年々上昇し平成22年度は1億3,000万円に及ぶ。
A 町長 抑制すべきだ。

Q 愛宕山分収林については、現実的な対応として出資者に三点の提案をされているが、一部出資者からは「同額を戻すべきだ」との声もある。
A 町長 臨時職と正職は関係にあり、臨時職は退職者のカバーという一面があるが、抑制に努める。



役場本庁舎内

Q もともと出資額はほとんど残っており、村が使い込んでいるのだから、元本補償での清算がベストと思うが町長の決断は。
A 町長 基本的には十年延長と考えているが、返還を求める出資者には元本補償はしなれないと思っている。

問 法人化できない地域への支援は

藤田晃己議員



答 あらゆる角度で支援を検討

Q 農業の法人化できない地域や担い手にもっと支援すべきでは。
A 町長 法人化できない地域は耕作不利益な地域なので中核的農家の育成に努めたい。

Q 単町費でないと細かな政策は組めないと思うが財源振り替えなどいろいろな面で節約工夫して神石高原町を持続可能ならしめるため、あらゆる角度から対策を考えていく。

Q 新規就農者支援事業の実績は。
A 町長 対象者は5人（男性4人、女性1人）が新規就農のため、研修中である。成果が上がるような施策を展開し、安心して就農できる制度としたい。

Q 新規就農者への指導は適切に実施しているか。
A 産業課長 毎月出向いて情報交換している。3月には指導者を交えて懇談した。

Q 5年後には350万円の所得が目標である。
A 町長 政策の我が町への影響は。

Q 土地改良事業は半減した。農家の戸別所得補償はするが農家の基盤作りを削減するというのは矛盾し、将来展望が立たない。
A 町長 中山間地等直接支払事業は継続で、1ha未満の団地でも適用になるの

はメリットである。国の助成制度を見極めながら、我が町の農業政策を検討していくことが重要である。



新規就農をめざして農業体験（豊松地区）

問 男女出会いの場を頻繁に

片山元八郎議員



答 あらゆる方策を駆使し
期待に応えたい

A 町長 農業委員会調査では、町内に800人の未婚者がいる。新年度予算では、「婚活」支援のため、単町費を投入し（ブライダルセンターの創設、カップリング、仲人奨励金など）あらゆる方策を駆使し、期待に応えたい。

Q 若き農業後継者の両親から「男女出会いの場」設定を強く要望された。町としてこれにどう応えるか。

A 町長 現在工事中である、宮谷川砂防ダムは、これまでの説明では多目的ダムと聞いていたが、現状と説明が違っている。



縁結びの幸運仏

A 町長 小島地域の配水管が老朽化し、漏水もある。新年度から取替え工事を施工し、水の確保に努める。

Q 多目的ダムへの変更は出来ないか。

A 町長 建設事務所に行き、お願いしたが、県としては変更できない。平成26年の完成を待ち、県と協議したい。

Q 水源地和期待していた地域住民は納得しない。

A 町長 処理量、人員配置を精査し、町民に納得のいく予算にする。

Q 「フリーンセンター」の売り上げの約90%が町からの委託料だ。その積算根拠は確かなのか。

問 ケーブルテレビ加入率
目標は

小林 貢議員



答 究極 100%加入が目標

Q 一回目の説明会が終った油木・神石地区の出席率は55.3%。出席者の内、加入率は54.4%である。この加入率で運営費は賄えるのか。コミュニティチャンネル・自主放送・動画放送などをメインに宣伝をし、加入を促す必要があるのでは。

A 町長 加入率50%台では、電柱占用料と保守料程度で厳しい状況だ。自主放送の具体的内容

Q 設備後の運営費がいくらかかるか解らないければ、加入推進目標が定まらない筈だ。試算しているか。パターン別目標、個別説明は。

A 町長 具体的には9月末までに町内全世帯の意向を確認したい。

A 理事 業者の試算が出ているので参考に検討している。

パターンとしては「基本チャンネルプラス」575円コースを基本とし、特に普及率の低い「インターネット」への加入を勧めたい。

パターン別目標は定めていないが、加入率は究極目標100%を目指し、スケジュールを決めて具体的に進めたい。



販売事務所（星の里いせき）

問 コミュニティチャンネルの方向性は

横尾正文議員



答 独自放送の具体化を検討

Q 地域のことを熟知している町内の方がコミュニティチャンネルを制作したほうがいいと思う。またこのような方が参加できるのか、具体的な方向性は。

A 町長 出来るだけ独自放送をしていきたい。また町内の方でそういう取り組みの姿勢があるのなら対象にしたいが、まだ事務方との協議はこれからである。

A 理事 町内で番組制作したい方がいるようであれば検討する。ただ、法人組織を立ちあげる必要がある。また、利用料収入が増えれば、多種多様なものが可能になるので、投稿ビデオ的なものも検討したい。町では、スタジオ設備は持たないので民間レベルで番組を制作提供していただくことになる。

番組の内容については、早急に方針を出したい。

Q ブライダル対策事業は町独自で担当者を置き、専門性を高め、ノウハウを蓄積していかなければ効果が出ないのでは。

A 町長 町としては専門職は持たないと言ってきたので民間人に対応する。町として、本腰を入れていく。



平和の折鶴 (志麻利)

Q 一般廃棄物処理業務について詳細な見積書をとって内容を精査しているのか。

A 環境衛生課長 業者の実行予算といたったものとはっていない。契約時に内容を精査していない。平成22年度以降においては、契約時に内容を精査する。

問 三和小学校統廃合に向け態勢の充実を

松本彰夫議員



答 新態勢で充実をはかる

Q 三和地区小学校の統廃合、統合小学校の建設といずれも来年の3月末までの事業である。教養の町を推進すると言いつつ、課長も1名体制のままである。新年度の教育委員会の態勢は。

A 教育長 建設本部を立ち上げ、専門の臨時職員を雇用し態勢はできている。統廃合に併せて新築もできる。



統廃合三和小学校建設予定地調査

Q 教育委員会は慢性的な時間外労働が続いている。改善策は。

A 教育長 事務の効率化、報告文書の見直しなどを行っている。経済対策で事務量が増大したが完了し、事務は落ち着いてきている。職員の増員をお願いしている。

Q 教育委員会の人員は、統廃合・新築を抱えているのに、増えていない。無理では無いか。

A 町長 4月1日から新態勢を考える。人事異動で増員を検討する。

Q 教育委員会は忙しすぎて、当面の事務処理に追われ、教育行政の将来を見据えた方針を考える余裕が無いのでは。

A 教育長 国や県の方針は決まっている。重点的なことは内部で協議している。

Q ケーブルテレビを成功させるためには、

A 町長 自主放送は必要不可欠と思われる。具体的には決めているが、地域の行事などを取り入れた番組を制作したい。

問 山の再生復活を

小川清治議員



答 町費では至難の業である

Q 山を守ることは暮らしの安全を守ることである。

①里山機能の復活
里山は、農地と森林の間にある多機能を持っている。里山機能復活のモデル地区を指定して復活事業を行っては。

②森林経営の再生
森林に対する価値観が低下し経営意欲が喪失し多面的機能を持つ森林が、放置され荒廃している。対策として森林経営担い手育成、部門別モデル

事業に取り組むべきだ。また、カーボンオフセットと森林再生事業と新エネルギービジョンの一石三鳥での取り組みが効果的ではないか。

町の83%をしめる山のビジョン森林行政にどう取り組むのか。

A 町長
国・県の補助事業が無く、町費では至難の業である。儲かる林業でなくてはならない。国も国産材需要増に取

Q 医師確保に奨学金制度を創設すべきだ。

A 町長
医師数は5人。引き続き関係機関に医師確保を要請していく。

Q 平成22年度町立病院医師数の状況と医師確保の取組みは。

り組んで行く方針であるが、安定供給の対応に問題がある。
CO2削減に繋がる多面的機能を持つ山林の再生がこれからの活力になる。

A 町長
検討する。



コミュニティヴィレッジ（三和地区時安）

問 学校耐震化整備は

橋本輝久議員



答 豊松小の補強整備を実施

Q 学校耐震化整備状況と今後の計画は。

A 教育長
豊松小・油木中学校については、3次診断を終えた。特に豊松小学校はIS値が0.3以下であり、耐震診断評価委員会の補強立案審査の結果をまわって22年度に補正予算で対応し整備したい。

Q 豊松小・中学校の統合についての方向性を示すべきでは。

A 教育長
豊松中学校について



はりきる1年生（豊松小学校）

は、24年度に油木中学校への統合を考えている。

油木中学校の耐震補強・改修工事が必要である。多額な工事費用が予想されるので、統合年度に影響がでる可能性がある。

A 町長
油木中学校の耐震整備費や油木高校を存続することを考えると、中・高一貫教育の方向で取り組み、県のモデル事業として進めたい。

Q 保護者・地域との議論の場を早期に設定するべきでは。

A 町長
議論することも大事である。

Q 町立病院の看護師の異動があるときいたが。

A 副町長
病院の質の向上を目指し、それぞれの職員のスキルアップを図る目的であるが本人の意思は尊重する。

Q 職員に対し、研修制度の説明を十分しているのか。

A 病院事業室長
病院事業計画のなかで、説明している。

問 「星の里いせき」の販売見込みは

丸山達夫議員



答 3年で50区画の販売見込み

Q 百年に一度の不景気と云われる中、「星の里いせき」の販売見込みは。

A 町長 不動産は景気に左右されるが、この計画は利益より定住が目的で、田舎暮らしを求める方に3年で50区画の販売を見込み努力する。

Q 小学校入学祝い金は将来持続できるのか。不公平は無いのか。

A 町長 子育て支援の起爆剤

Q 共同アンテナ組合の改修・撤去費100%の補助は。

A 町長 共聴施設の利用年数がまちまちで、また個人で対応済みの方もある。100%補助は無理で、基準を設け補助を行い、加入の推進に努力する。

Q 農林業を基幹とする本町の農地・山林の荒廃防止策は。

A 町長 国の助成も廃止となり、町単独では困難である。松枯れ処理対策は、県などに本町をモデル指定とする要望を行っていきたい。

Q 新入生などのバス通学の安全教育は。

A 教育長 入学時は教師が同乗し、春の交通安全などで、

Q 子宮頸がんは、予防できる唯一のガンだ。予防ワクチンは3回接種が必要で、3万円以上と高額である。女性の健康を守るため

A 町長 6ヶ月の周知期間の後、10月1日より施行。規制数値を超える場合は行政指導、改善命令の処分ができる。



元気に通学（神石小学校）

問 「循環型社会構築」にどう取り組む

寄定秀幸議員



答 「新エネルギービジョン」に基づき取り組む

Q 循環型社会構築のため、町内の「再生可能エネルギー」特にバイオマスの利・活用に取り組むべきでは。

A 町長 「新エネルギービジョン」に基づき、バイオマス・エコタウン構想を検討し取り組む。

Q 再生エネルギーの活用で、カーボンオフセット（CO2排出量取引）を実施すべきでは。

A 町長 国の動向を重視し、

Q 森林整備と併せて取り組みたい。

A 町長 RDFをRPFへ変換・移行は可能か。環境衛生課長

Q 在宅医療廃棄物処理は安全かつ適正か。

A 町長 感染性医療廃棄物は収集していない。環境衛生課長

Q 本町の事態に則した

Q 臭気指数規制の導入が決定、その運用は。

A 町長 6ヶ月の周知期間の後、10月1日より施行。規制数値を超える場合は行政指導、改善命令の処分ができる。

Q 子宮頸がんは、予防できる唯一のガンだ。予防ワクチンは3回接種が必要で、3万円以上と高額である。女性の健康を守るため

A 町長 6ヶ月の周知期間の後、10月1日より施行。規制数値を超える場合は行政指導、改善命令の処分ができる。

Q 統合三和小学校は小・中一貫教育を目指すべきでは。

A 教育長 小・中連携教育を推進し、将来的には一貫教育も検討する。

Q 健康教育の実施など、国の動向を見極めて適切な対応をする。

A 町長 健康教育の実施など、国の動向を見極めて適切な対応をする。



町立図書館

クイズの回答とともに寄せられた

“まちの声”

○地域の宝である“子ども”を大切にしつつづける町であってほしいです。
子ども医療など、他にないよい制度、ぜひ継続を望みます。
(60歳・男性)

○子ども・お年寄り、そして、私たちの世代にもいろいろな点でメリットがほしい。
(56歳・女性)

○要所に写真、また色彩を取り入れた印刷など分かり易く、充実した議会

広報の発行に敬意を表しています。
(80歳・男性)

○人によって、それぞれ読みにくい字があります。私も読んでますが、よく意味がわからない事があります。よろしくおねがいします。
(60歳・女性)

○この前も、もう一度お出かけタクシーを見直して欲しいと有りました。私もその一人です。バスは何度もないし、時間的

に1カ月に2度病院へ行きますが、バスに間に合わないでタクシーなので高くつきます。
門の前は県道なので、ふれあい号は通ってくれません。
(86歳・女性)

○住めば都で良いと思って暮らしております。みんな年を取るのて近くの畑までカヤから木へと山になっていくこと悲しく感じます。
イノシシは近くの軒さきまでも来る様になりつ

問 若者定住対策の充実を

佐伯卓師議員



答 新たな対策でサポート

Q 結婚支援・子育て支援など、若者定住対策は本町にとって重要課題である。
今の若者の結婚に対する意識や考えは、以前とはかなりの違いがあるがどう取り組むのか。

A 町長
重点項目として、定住対策・少子化対策・子育て支援も考えており、出会いから子育てまでの支援をする。
結婚対策は青年会・農業委員会と連携し、各種

交流イベントの開催、婚活ブーム利用のためホームページの立ち上げ、ブライダル業界と連携し、相談から結婚までをサポートする「ブライダルセンター」の創設も検討する。

Q 若い世代には保育料がおおきな負担になっている。第2子目からの保育料の免除も考えるべきでは。

A 町長
第3子以降の保育料半額免除と、保育時間の

延長など実施する。

Q 「源流の里」維持・再生対策について、集落支援員も努力されているが、対象集落の動きも弱く苦勞されている。現状の把握と、今後の取り組みは。

A 町長
大変厳しい事業であり、支援員の苦勞も聞いている。新年度は調査をもとに再生計画を立て、実施出来るところから再生事業に取り組みたい。



油木保育所退所式

第4回 議会クイズ 解答

- ① 77
- ② 8002
- ③ 三和
- ④ 造林
- ⑤ 上組

ご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りします。

第4回クイズ当選者

神石地区 福名 澄江さん 豊松地区 竹下 民江さん
三和地区 重松 巖さん 神石地区 山本 英峯さん
油木地区 池田 洋子さん (順不同)

つある今日です。本当に困ったと思ひ暮らしております。どうか、イノシ

シの害のなくなる様に祈ります。
(73歳・女性)

○月に何回か道路の巡回をされていると思うのですが、舗装が穴になってる箇所があるのです。

出来れば、早めに補修して頂ければと思います。
(78歳・女性)

もっと分かりやすく するためにはどうする

広報広聴調査特別委員会研修に行ってきました。

研修目的

議会活動をより分かり易く住民に伝えるとともに、身近な町議会と感じてもらえるような「みんなの町議会」を発行するためにはどうするかを調査研究。

研修年月日

平成21年3月29日(月)

研修先

高知県高岡郡越知町議会…
広報調査特別委員会

研修結果

○広報誌の改善について
※読ませるページ構成は



広報委員会研修

1. インパクトのある表紙(まず手に取らせる)。

- ①写真の表現を大事にする…表情・ズームアップ・動き。
- ②見だしの活用…フォント、色、大きさに変化をつける。

2. 視覚に訴える(目の動きを考える)。

- ①写真の位置を単調にしない。
- ②必ず人物を載せる(誰か分かるようにする)。
- ③明解で大胆な見出し。
- ④小見出しを付ける
(記事の内容が見ただけで分かるように)。

3. 結果でなく、過程を載せる(結果は町広報で分かっている)。

- ①審議の過程をコンパクトに記事にするなど、全国表彰常連の議会広報のノウハウを吸収しました。今後の議会広報制作・編集に生かします。

広島県町村議会議長会 議会広報コンクールで 最優秀賞を受賞

「みんなの町議会」第18号(平成21年4月発行)が、広島県町村議会議長会広報コンクールで最優秀賞を受賞しました。今後も、分かりやすい紙面に心がけ、身近な町議会と感じてもらえるような議会広報紙をめざしてまいります。また議会へのご意見、ご要望などお寄せいただければ幸いです。



元気なグループ紹介



日本善行表彰記念の集い

こだまの会
(朗読ボランティアの会)

視覚障害の方へ「聴きやすいテープを迅速にお届けしたい」との思いで、昭和61年に結成しました。町広報、議会広報、社会福祉協議会広報、身障者通信広報などを朗読・録音しています。

会員数は現在23名、仕事や家事、介護や育児などをこなしながら、心を込めた活動をしています。

この度、町内有志の方のご尽力により、神石高原町各地に伝わる「ふるさとのむかしばなし」が編集され完成しました。

この素晴らしい「むかしばなし」に感銘を受け、朗読ボランティア「こだまの会」として子ども達へ語り継いでいく使命があると確信し、地域のコミュニケーション、町の活性化の一環となればと昨年1年かけて朗読・編集に取り組んできました。

この度、カセットテープが完成し、各地区の社会福祉協議会に置かせていただいています。(現在CDの制作中です)

お気軽にご利用ください。

朗読やボランティアに興味・関心のある方は是非ご参加ください。

ー連絡先ー

こだまの会代表 小森 勇

神石高原町 高蓋8-2

TEL 851-2469

第5回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

①22年度一般会計〇〇〇億1,000万円

②議員発議・神石高原町議会議員〇〇規程の

制定

③総括質問・職員の〇〇〇の徹底を。

④総括質問・〇の里いせき」の販売見込みは。

⑤元気なグループ紹介、〇〇〇の会。

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな・年齢)」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。

「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

《あて先》
〒720-1522 神石高原町小島二〇二五 神石高原町議会議事事務局

「第5回議会クイズ係宛」

《締め切り》
5月10日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

春とはいえ花冷えが続きます。世界経済の復興も日本だけが乗り遅れているようで、なかなか温かくなりません。

日本の再生は、地方から。地方の元気が日本の活力の源です。

新町が発足して6年目。3つのプロジェクト事業をメインに100億を超える積極型予算が組まれました。地方の中山間地からの挑戦。

これからが勝負です。議会広報も昨年4月号から新企画でスタートし、このたび広島県の最優秀賞を頂きました。

これからも皆様方により分かり易く親しんで頂ける広報を目指して研鑽・努力しますので、ご愛読を宜しくお願い致します。

「木」



福寿草